## 【株式会社藤田製作所】

基本方針		2030年度までに当社のC02排出量を13.3%削減することを目指す。						
計画期間		2025 年度 ~ 2030 年度						
二酸化炭素の排出量及び削減の目標	二酸化炭素の排出量	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度	第6年度
	(kg-CO <sub>2</sub> )	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度
	事業活動に伴う排出量	588, 051	574, 253	561, 335	548, 418	535, 500	522, 582	522, 582
	(kg-C0 <sub>2</sub> ) 【A】	000, 001						
	カーボン・オフセット							12, 918
	(kg-CO <sub>2</sub> ) 【B】							,
	評価の対象となる排出量	588, 051	574, 253	561, 335	548, 418	535, 500	522, 582	509, 664
	(kg-CO <sub>2</sub> ) [A] - [B]							
	年度ごとの増減率		<b>▲</b> 2.3	<b>▲</b> 4. 5	<b>▲</b> 6.7	<b>▲</b> 8.9	<b>▲</b> 11. 1	<b>▲</b> 13.3
	(%)【基準年度比】							
			昨年度末に導入した太陽光発電設備の稼働状態を監視する。 工場の一部のエアコンを高効率なものに切り替える。					
二酸化炭素の排出を抑制するための具体的な取組内容			脱炭素経営研修を実施し、意識の向上を図る。エアリークビューアを使 用し、コンプレッサのエア漏れ箇所の点検と対策を行う。					
		3年目	工場の一部の照明を水銀灯からLED照明へ切り替える。					
			コンプレッサを高効率製品に切り替える。 マシニングセンタの冷却チラーを高効率製品に切り替える。					
			社用車の一部を電気自動車に切り替える。 油圧装置を高効率製品に切り替える。					
		6年目 ジ	カーボンクレジットを購入し、カーボンオフセットを実施する。					